令和 7 年度　サクラノキ　地域連携推進会議　議事録

1. 開催日時

令和　7　年　11　月　26　日（水）　　10 時 00 分 ～　11 時 00 分

2. 開催場所

サクラノキ星ヶ丘

3. 出席者

サクラノキ管理者：柳田　剛

サクラノキ利用者：●●様

サクラノキ利用者家族：●●様

地域の関係者：●●病院　●●様

福祉に知見のある人：相談支援事業所●●　相談員　●●様

書記：サクラノキ支援員　新田　雄飛

4. 会議の目的

グループホームの運営状況、支援内容、利用者の生活状況等を地域の関係者と共有し、サービスの透明性の確保と支援の質の向上を図るため開催した。

5. 配布資料

1. タイトル
2. 目次
3. ホームの紹介
4. ホームの生活
5. 支援について
6. 研修、委員会、BCP 策定状況
7. 近隣からの苦情
8. 事故、ヒヤリハット
9. 経営状況の報告
10. 実費精算の詳細
11. アンケート結果

6. 議題および内容

（1）ホームの概要について

住居構成、定員、入居者数、障害種別、支援区分等について説明した。現在は共同住居およびサテライト型住居を運営しており、利用者の状況に応じて必要な支援を行っていることを共有した。

（2）ホームでの生活について

平日の生活リズム、日中活動の状況、休日の過ごし方等について説明した。利用者ごとの体調や生活状況に応じて、家族、相談支援事業所、医療機関等と連携しながら対応していることを確認した。

（3）支援内容について

食事提供、服薬管理、金銭管理、病院同行、買い物同行、日中活動先との連絡調整、生活相談等の支援内容について説明した。利用者本人の意思を尊重しながら、必要な部分を支える方針を確認した。

（4）研修・委員会・BCP について

虐待防止・身体拘束適正化委員会および研修を実施していること、自然災害・感染症に
対応した BCP を策定し、研修・訓練を行っていることを報告した。

（5）近隣からの苦情について

近隣からの苦情についてと、その再発防止について共有した。今後も近隣住民への配慮を継続することを確認した。

（6）事故・ヒヤリハットについて

虐待報告は 0 件、服薬管理不備による未服薬が 1 件、利用者間トラブルが 1 件あったことを報告した。再発防止として、服薬時の確認徹底、管理者等への早期相談、緊急時の連絡体制の再周知を行うこととした。

（7）経営状況・実費精算について

令和 6 年 4 月から令和 7 年 3 月までの経営状況および実費精算の状況について資料に基づき報告した。今後も安定した運営を継続できるよう、収支状況、職員配置、支援体制を確認していくこととした。

（8）利用者アンケート結果について

利用者アンケートの結果を共有した。生活に満足している意見が多くあった一方、他利用者との関係、職員の声かけ、生活環境等についての意見もあった。内容を職員間で共有し、改善できる点は日々の支援に反映することとした。

7. 意見交換

出席者より、ホームの運営状況、支援内容、近隣対応、事故防止、利用者アンケート結果等について意見交換を行った。

・相談支援事業所●●　●●様より、実費精算について（食費・水道光熱費・日用品費等については概算額で毎月請求し、実際にかかった金額との差額を 2 か月に 1 回精算していることについて）「生活保

護受給者に対して差額を返金する場合、保護課として問題はないのか（収入にあたらないか？）」との意見があった。
事業所としては、実費に基づく精算であり問題ないものと考えているが、生活保護受給者の返金取扱いについては、念のため保護課へ確認することとした。
・利用者が安心して生活できる環境づくり、近隣住民への配慮、関係機関との情報共有を継続していくことを確認した。

8. 会議後の施設視察

会議終了後、施設内の視察を実施。
まず、出席者全員でサクラノキ星ヶ丘を視察した。利用者のプライバシーに配慮し、主に共用部、生活スペース、玄関まわり、設備状況等を確認。
その後、以下のとおり各住居の視察を行った。
サクラノキ勢子坊：●●様視察
サクラノキ亀の井：●●様視察
サクラノキ社台：●●様視察

9. 閉会

以上の内容で地域連携推進会議を終了した。
作成日：令和　7　年　11　月　26　日
作成者：サクラノキ支援員　新田